

会報

★ 広島県高P連

発行所

広島市中区八丁堀11番28号
朝日広告ビル4F
広島県高等学校
P T A 連 合 会
電話(082)223-3347
FAX(082)223-3351
HP hiroshima-koup.sakura.ne.jp

NO. 160

平成二十九年 第一回単P会長研修会

とき 平成二十九年七月二十九日
ところ 広島YMCA 多目的ホールほか

平成二十九年第一回単P会長研修会が、七月二十九日(土)十三時から広島YMCA三号館多目的ホールにて開催されました。



国歌斉唱の後、広島県高等学校PTA連合会北村正次会長の開催挨拶、来賓として広島県教育委員会事務局教育部生涯学習課課長十時明子様、広島県公立高等学校長協会副会長川端一弘様から御挨拶賜りました。

研修行事としては、広島県高等学校PTA連合会組織等説明を、北村会長から説明いただき、今の広島県高等学校PTA連合会でのあり方や運営につ

いてお話がありました。

次に、グリー株式会社安心安全チームマネージャー小木曾健様をお招きして、『正しく怖がるインターネット』事例に学ぶ情報モラル』という演題で講演をいただきました。その中で、今問題となっている歩きスマホの原点となる、歩きタバコや歩き新聞など、昔からのあつた事例などを分かりやすく御説明いただきました。

そして、SNS(ソーシャルネットサービス)でのコンビ二等の若者による悪戯写真による炎上の発生原因を御説明いただき、炎上に対する対処方法も詳しく御説明いただきました。

一旦炎上が起きれば、写真を掲載した本人・家族が苦しむ事例もお話いただき、正直背筋が凍る思いで聞かせていただきました。

講演の中で響いた言葉が、『日常生活とインターネットは同じ世界』、『インターネットはすべて家の玄関の外側』と話された事に正直驚きました。

写真も、家の玄関に掲示できるものをSNSで掲載はいいけど、非日常的な写真は間違いなく炎上しますとの言葉に、ビックリいたしました。



インターネットやSNSが便利にどんどんと使われる現代に、使い方も慎重に思考しながら使用していかないと考えさせられました。

後からお聞きしましたが、小木曾様の講演につきましては、講演料・交通費に関して、一切頂戴しないとの事です。半年前からの受付をグリーのホームページから申し込みを受け付けていらっしゃいます。各校で研修会をお考えの皆様には御参考いただければ幸いです。

講演会終了後には、八分散会に分かれて、自由に相談等、皆さんで会話いただき、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。

研修会に御足労いただいた皆様に感謝申し上げます。

(調査広報委員 上田亨一)

平成二十九年 広島県高等学校PTA連合会

進学説明会

とき 平成二十九年八月十二日
ところ 広島県民文化センター

広島県高等学校PTA連合会主催の「進学説明会」が今年も広島県民文化センターにおいて開催されました。



今年の参加者は、会場定員五三〇名のところ五八八名の参加申し込みがあり、例年になく多くの参加者で、会場は満席状態となりました。

最初に、広島県高等学校PTA連合会北村会長の開会挨拶、その後学校法人河合塾広島校舎長の毛利美佳様による講演がありました。

この講演は、「大学入試の現状とこれから。親の心構え。」と題して、学部系統の人気の、文高理低から二〇一七年度入

試では社会科学系（建築・情報）が人気傾向に変わっていき、これまでと同じ教育を続けていては、これからの時代に通用する力を育めない。また、先輩たちの反省点を確認し、基本姿勢をしつかり固め、今から実行すべきことなどを具体的にわかりやすく説明していただきました。



また、子供との関わり方ひとつで、「子供を伸ばす親、子供をつぶす親」になるということを詳しくお話してくださり、とても参考になりました。

勉強の悩み

1. 勉強に負けて勉強できない。
解決策①: 得意したら、勉強前に復習！
解決策②: 得意するまで！
解決策③: 前の日やることを決めておこう！
2. 勉強時間が足りない。
解決策①: 時間を見つめる！
解決策②: 「いいい」ながら勉強する！
3. 集中力がない。
木ガティブな言葉はやめましょ！
— そんなんじゃ落ちるよ。
— まだ次がある。がんばって！
— お兄ちゃん、成績よかったのに。
— あなたはあなたにしかないこんないいところがあるじゃない。
— 志望校下げたら？
— やるだけやって、だめだったらそのとき考えよう！

続いての、各大学紹介では、今年も海上保安大学校・福山市立大学・尾道市立大学・県立広島大学・広島市立大学・広島大学の六校がそれぞれ二十分という短い時間の中で、大学の特色や入試概要などを説明していただき、みんな熱心にメモを取りながら聞き入っていました。

社会で活躍できる人材育成に力を入れていくことがよくわかりました。後になりましたが、当日の司会進行を努められました。広島県高等学校PTA連合会 進路対策委員長（可部高等学校PTA会長）の中田さんをはじめ、運営に携わった進路対策委員の皆様、資料の封入作業や受付等大変お疲れ様でした。（進路対策委員 白井教司）

第六十七回全国高等学校PTA連合会大会

静岡大会

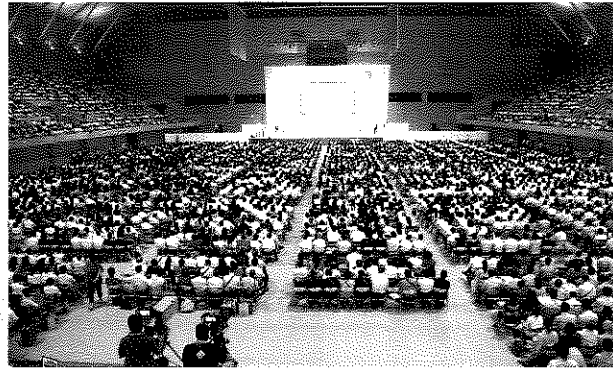
とき 平成二十九年八月二十四日～二十五日
ところ 小笠山総合運動公園エコパアリーナほか

残暑の太陽がまぶしく照りつけるなか、このような時代に求められるのは、地域静岡県袋井市の小笠山運動公園エコパアリーナにおいて第六十七回全国高等学校PTA連合会大会静岡大会が八月二十三日（木）、二十四日（金）の二日間に行われ開催されました。

静岡ということで世界文化遺産の富士山も私たちが雄大な姿で迎えてくれるかと思いきや、控えめにあたたかく見守るかのよう姿を現してくれました。さて、今大会のメインテーマ「有徳の人」づくり、サブテーマ「未来のために行動する一人」を育てよう。日本は大きな変革の時代を迎え様々な課題も抱えており、

初日、まずはアトラクションで静岡県立横須賀高等学校郷土芸能部による「三

社「祭礼囃子」で幕を開け、開会式では静岡大会実行委員会杉浦政紀委員長の挨拶



に始まり、一般社団法人全国高等学校PTA連合会牧田和樹会長の挨拶、文部科学大臣林芳正様、静岡県知事川勝平太様から祝辞をいただきました。

開会式に続き、「戦国武将に学ぶ子育てと人づくり」というテーマで静岡大学名誉教授の小和田哲男氏による基調講演がありました。

小和田氏はNHK大河ドラマの時代考証も監修されており、その中でのエピソードも交えて人づくりや子育てのヒントになるお話をしてくださいました。

時代考証とは脚本の中に事実や史実と



異なる点を見つけ指導するものですが演出の関係で変更になることもあり、そのお話しもしていただき会場内が笑いに包まれる一幕も。時代が古くても戦国武将の子育てや家臣への接し方や様々な話は、現代における考え方に通ずるものが多く徳川家康は「宝の中の宝は家臣である」「忠臣の子は忠臣になる」と言って自分に刃向かった敵の子であってもその才能を買って自分の臣下に登用しその係を最終的に老中に任ずるなど驚く話ばかりでした。

現在のような教育制度はなかったものの、学校教育だけでなく生涯教育に通ずる人づくりの工夫が戦国時代を生き抜く基礎となったのだと思います。昼食は、静岡県の食文化を感じる様々な特産物が彩りよく詰められたお弁当を美味しくいただきました。昼食時に行われたアトラクションは静岡県立磐田北高等学校吹奏楽部の演奏で、いずれもとても素晴らしい演奏でした。



「ネットトラブルの予防と対策」とし、第一部では株式会社KDDI総合研究所教育・医療ICTグループ研究主査の齋藤長行氏による基調講演が行われ、現代の青少年にとってスマートフォンは必要不可欠なツールであるがインターネットリテラシーを向上させネットトラブルの予防と対策に取り組んでいくことが大切であると話されました。第二部では静岡県立磐田南高等学校太田好洋PTA会長、静岡市立清水桜が丘高等学校柳本直輝教諭、同校三年生でパソコン部の先生弾さん、総務省総合通信基盤局電気通信事業消費者行政第一課徳光歩課長をパネリストに迎えディスカッションが行われました。二日目のアトラクションは、静岡県立清水南高等学校・同中等部管弦楽部と静岡県立浜松西高等学校・同中等部弦楽部の合同による演奏と静岡県立天竜高等学校春野校舎郷土芸能部のみなさんによる演奏が披露されました。記念講演として、静岡県浜松市出身である俳優 筧利夫氏の「これがオレの生きざマだ!」というテーマで講演が行われました。とても元氣よく大きな声で挨拶しながら登場され、テレビなどで観ているエネルギーッシュなイメージそのままのお姿でした。司会の方との対談形式でしたが、幼い頃にあまりに言動が突飛すぎるために心配した親に祈禱所に連れていかれたという話や、小学生の頃は勉強をしていなかった

たが先生から年賀状をもらえるのは頭の良い子なんだと思い、一念発起して中学生になると一日五時間も勉強しながら部活動にも励み、高校までバスケット部で練習に励んでいたそうです。



授業をサボることはあっても部活には休まず参加していたのは先輩が怖くて休めなかったとか・・・。

この時に体力を身につけていたのは現在の俳優としての仕事に間違いなくプラスになっているとのこと。私たち保護者に対して、「いろいろ心配すると思いますが、声をかけたりとか適度な距離を保つようにして お子さんのヒミツにして

いることは盗み見しないであげてください！」など和ませるアドバイスも頂きました。

驚くようなエピソードやなるほどと頷くような話などであつたという間の時間でしたが大学進学の話や俳優を目指すようになったきっかけの話などを聞いて我が子へのアドバイスの参考にさせてもらおうと思いました。

俳優として第一線で活躍されている方のお話はとても興味深く、楽しい講演でした。

最後に初日に行われました各分科会からの報告があり、自分が参加できなかった分科会の報告を聞いていると他の分科会の内容もとても興味深く、参加してみたかったなあと思いました。

続いて閉会式へと移り、静岡大会実行委員会高塚勝久副委員長から

「PTA活動を通して学校と連携・協働し、子どもたちによりよい学びの場を提供できるよう一層の支援に努める。」

「PTA活動を通して学校と連携・協働し、子どもたちの進路実現に向け一層の支援に努める。」

「PTA活動を通して学校や地域社会と連携・協働し、子どもたちが安心して取組・活動できる教育環境づくりを目指し、一層の支援に努める。」

「PTA活動を通して学校や地域社会と連携・協働し、自己啓発、自己研鑽、

自己成長を図るよう努める。

「子どもたちが災害時にも自らの判断で主体的に行動できる人材の育成を目指し、一層の支援に努める。」

「グローバル化に対応した教育実践、教育環境の整備、世界に羽ばたくグローバル人材の育成を目指し、一層の支援に努める。」

と大会宣言が採択されました。

次期開催地の佐賀大会実行委員会西岡豊委員長へ全国高P連旗が授与され、挨拶と共に佐賀大会のPRの映像が大きなスクリーンに映し出され、とても魅力的で素敵でPR映像で来季の開催が待ち遠しく感じるほどでした。

杉浦政紀実行委員長の閉会の挨拶の中で「この三年間、いろいろなところで『大変ですね』と言われたが、大変という字は大きく変わると書くが自身としても本当に大きく変わったと思いましたが。」との言葉と少し潤んだ瞳の奥に準備に尽力された御苦労を感じました。

小山全司副実行委員長の閉式の辞で閉会となり、会場を出たところで、静岡県立横須賀高等学校郷土芸能部によるお見送りパフォーマンスがあり、温かいおもてなしの心を感じながら会場を後にしました。

このような素晴らしい大会に参加させていただきありがとうございます。

(調査広報委員 岡本聡子)

～PTA功労表彰の御紹介～

第67回全国高等学校PTA連合会大会静岡大会では、永きにわたりPTA活動に御尽力いただきました次の皆様が御受賞されました。

平成29年度優良PTA文部科学大臣表彰

広島県立廿日市高等学校PTA

広島県立油木高等学校PTA

平成29年度全国高等学校PTA連合会会長表彰 個人

土居篤史 広島県高等学校PTA連合会前副会長

広島県立河内高等学校元PTA会長

石橋良修 広島市立沼田高等学校前PTA会長

平成29年度全国高等学校PTA連合会会長表彰 団体

広島県立三次高等学校PTA

御受賞おめでとうございます。皆様に感謝申し上げますとともに心よりお祝い申し上げます。

(県高P連事務局)

広島県高等学校PTA連合会 広島県大会

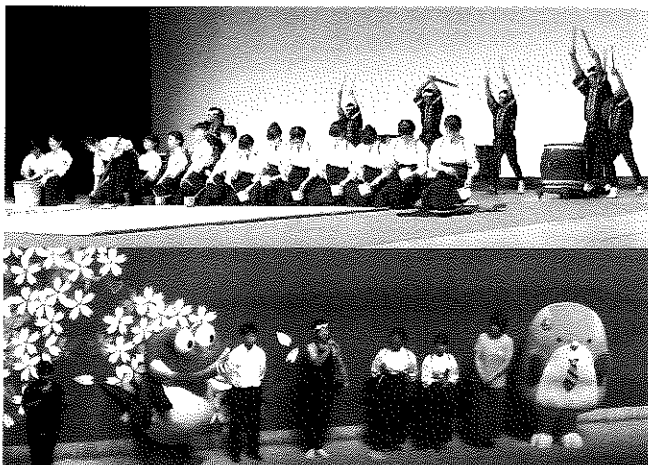
とき 平成二十九年十月一日
ところ はつかいち文化ホール さくらびあ

平成二十九年年度広島県高等学校PTA連合会広島県大会が、平成二十九年十月一日（日）十二時から、はつかいち文化ホールさくらびあにおいて、「二十一無限大」く可能性の化学反応を起こそうくをテーマに、県内八地区より八百人を超える会員が参加して盛大に開催されました。

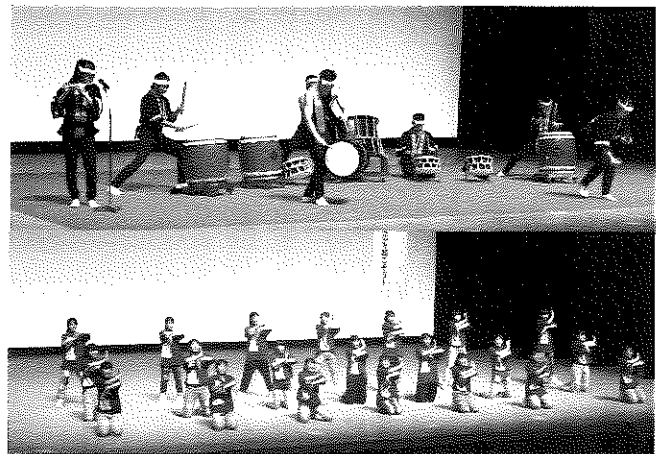
本大会の日程は、アトラクション（広



島県立湯来南高等学校和太鼓部、広島県立五日市高等学校書道部、広島県立廿日市高等学校ダンス部、開会行事、事例発表（広島県立総合技術高等学校）、講演（相井正樹氏）、閉会行事で構成され、十六時十五分頃全日程を終了しました。開会に先立ち、アトラクションとして



湯来南高等学校和太鼓部と五日市高等学校書道部とのコラボレーションによる書



道パフォーマンスで幕を開け、勇壮な和太鼓のリズムに乗って「二十一無限大生れたからには人と話し、共に泣き、笑い、怒り、築いた仲間が集まった時、一人では出来ないようなことが成せるはず！無限の可能性を信じて」と力いっぱい書道パフォーマンスを披露いただきました。

続いて湯来南高等学校和太鼓部による演奏では、和太鼓の豪快な音を響かせ七曲を披露されました。とても七人で演奏しているとは思えないほど力のこもったパチさばきと迫力満点のパフォーマンス

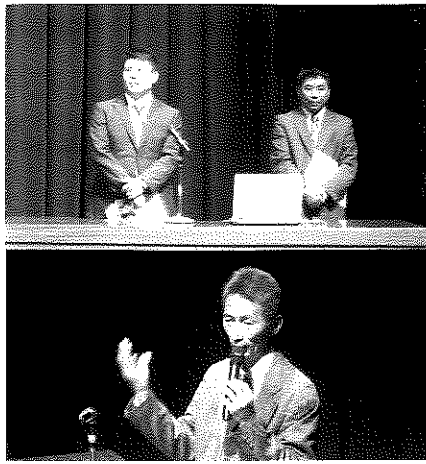
で出迎えていただきました。最後に廿日市高等学校ダンス部のヒップホップダンスが披露されました。軽快なミュージックに合わせてダンスする生徒たちの真剣な顔と躍動感溢れるパフォーマンスで会場が華やかな雰囲気になり一層盛り上げていただきました。



開会行事では、桂直美実行委員長の「一」と「二」を足したり引いたり、掛けたりもしてみることでの解は無限大であるとの心のもった「歓迎挨拶」に続き、北村正次広島県高等学校PTA連合会会長の主催者挨拶、そして、来賓の方々を代表して、下崎邦明広島県教育委

員会教育長、眞野勝弘廿日市市長、好村孝則広島県公立高等学校長協会会長から御祝辞を頂戴しました。

開会行事終了後、総合技術高等学校井上徳博PTA会長から、「礼節を重んじる」総高生と共に育むく総高生に寄り添うPTA活動というテーマで事例発表がありました。総合技術高等学校は、広島県内では、唯一、工業・商業・家庭に関する学科を設置する専門高校であると紹介され、正門前で「一礼」や総高祭でのバザー等の事例を基に、「自らを鍛える」「自ら技を磨く」「地域社会に貢献する」というビジョン実現目指して日々活動に取り組んでいると発表がありました。



れました。

柏井先生は、中学生の時はバスケット部で、あまり良く思っていない人がキャプテンになった事で退部し帰宅部となり、高校時代は剣道部を検討したが部室の汗臭さのため断念し、文芸部に入ったそうです。そこで小説を書きコンクールに応募したら、なぜかエッセイ部門で入賞したそうです。そして、ある日曜日の夕方になんとなく着けたテレビで知らないおじさんたちがテニスの試合をしているのを見ていて、おもしろそうだなと思ったのがきっかけで大学入学後テニスを始めたそうです。

それから競技生活をスタートされ大学卒業後、テニススクール契約コーチとなり、男子プロテニス選手で世界ランキング4位にまで駆け上がり、現在も活躍中の錦織圭選手をはじめ、プロを目指している多くの選手たちのジュニア時代の指導をされてこられました。

錦織圭選手のエピソードでは、ジュニア時代の錦織少年は、ボールを扱うことに関しては別格の才能があり、すぐに上級クラスに上がり、一セットを落とすとしても、何処かで打開策を見つけて変化を表現出来る選手だったそうです。また、コーチとの対戦練習においても自分が勝つまで、何度も対戦をお願いするくらいとても負けず嫌いだっただそうです。

合宿では、昼食時に優勝スピーチの練習を行い、感謝の言葉をしゃべる訓練を

していたそうです。まずは、スポンサーに感謝！（試合に出場できたことに対し）次に観客に感謝！（応援してくれたことに対し）、最後にコーチや身内に感謝！（ここまで育ててくれたことに対し）感謝を伝えた後は、最後に抱負を語ることを徹底して訓練したそうです。技術面では、常に目的目標を持たせ、何が間違っていて、何が良かったかを評価することを伝えてきたそうです。

そうすることで、自分の意志をもって表現させる。そのために工夫できる子が伸びていくそうです。

テニスは「失敗する（させる）スポーツ」です。どれほど上達しても失敗は必ずあるそうです。それと向き合い、時にはそれを利用することができるメンタリティーを育てるのがコーチの仕事だそうです。最後に子供たちの未来のために、試合に勝ったか、負けたかではなく、練習してきたことが出来たかどうか大事であり、「失敗することは、みんなやっていける、何ら問題ない。同じことを繰り返さないために、今、自分が何にチャレンジしようとしているのかが大事だ！」と伝えていきたいと締めくくられました。

閉会行事では、岩田信正広島県高等学校PTA連合会広島西地区会長から閉会挨拶がありました。続いて次回開催予定地区の広島地区の皆さんが、広島東洋カープのユニフォームを着て開催案内の横断幕を掲げて登壇し、清水朗弘広島地

区高等学校PTA連合会会長より御挨拶と中谷匡志実行委員長からお招きの言葉がありました。次年度は、平成三十年十月二十一日（日）上野学園ホール（広島市中区白島北町十九一）での開催となります。



最後に二宮理副実行委員長から、広島県高等学校PTA連合会広島県大会成功に対する感謝の気持ちとホッとした気持ちを込めて「閉会宣言」をされ、全大会日程を無事に終了しました。

このような素晴らしい大会を開催いただいた広島西地区高等学校PTA連合会の皆様をはじめ、御尽力の皆様から感謝とお礼を申し上げます。

（調査広報委員 山本祐二）

全県一斉あいさつ運動ポスター入賞作品の御紹介

広島県高等学校PTA連合会は、五委員会（総務・研修・調査広報・健全育成・進路対策）を設けており、それぞれの委員会は一年間を通して、活発で有意義な活動を行っていたいております。委員会のひとつ、健全育成委員会の事業の一環として、平成二十三年度より、「全県一斉あいさつ運動」を開始しました。今年で七回目を迎えました。

毎年十一月一日を「あいさつ運動」実施日としており、本年度も、各校、各駅などで実施いただくように事前に依頼しました。当日は、「あいさつ運動」のためののぼり旗を掲げ、朝早くから寒い中実施いただいたとの報告を受けて、健全育成委員会の活動も活性化できました。各校のPTAの皆様、御協力をありがとうございました。

本年は、全国高等学校PTA連合会の青少年の健全育成に係る活動助成金活用補助金を受けるため、広島県立広島国泰寺高等学校を訪問させていただきました。「あいさつ運動」実施の光景を見学させていただきました。ありがとうございました。また、「あいさつ運動」を広く周知いただくために、本年もポスター原画を募集し、健全育成委員会で厳正なる審査会を実施し、十一月一日の「全県一斉あいさつ運動」の前



広島国泰寺高校「あいさつ運動」

に各校へ配布いたしました。応募総数六十点の作品の中から、広島県立熊野高等学校 武内未莉さんの作品が優秀賞に選ばれ、ポスターとなりました。たくさんの方の御応募をいただきありがとうございます。

〔優秀賞〕

広島県立熊野高等学校 武内 未莉



また、その他受賞されました作品は次のとおりです。

〔佳作〕

広島県立賀茂北高等学校 横山 紫乃
 広島県立河内高等学校 丸岡 未憂
 広島県立蕨瀬特別支援学校 住田 蓮
 次年度も引き続き、ポスター募集を行う予定です。
 たくさんの方の御応募をお待ちしております。
 (県高P連事務局)



広島国泰寺高校「あいさつ運動」

平成30年 県高P連行事予定

- 平成30年1月20日(土) 平成29年度第2回単P会長研修会(広島YMCA 国際文化ホールほか)
- 平成30年3月中旬 平成29年度第2回常任委員会(広島YMCA 本館会議室)
- 平成30年6月12日(火) 平成30年度県高P連定例総会(広島県民文化センター)
- 平成30年6月下旬 平成30年第1回常任委員会(広島YMCA 本館会議室)
- 平成30年7月18日(水) 第60回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会愛媛大会
(松山市 ひめぎんホール)
- 平成30年7月28日(土) 平成30年度第1回単P会長研修会(広島YMCA 多目的ホールほか)
- 平成30年8月11日(土) 広島県高等学校PTA連合会進学説明会(広島県民文化センター)
- 平成30年8月20日(月)~21日(火) 第68回全国高等学校PTA連合会大会佐賀大会
(佐賀市 佐賀県総合体育館ほか)
- 平成30年10月21日(日) 広島県大会(主管 広島地区高P連)(広島市 上野学園ホール)
- 平成30年11月1日(木) 全県一斉あいさつ運動

広島県高等学校PTA連合会

高校生総合保障制度

この制度の特徴

〈高校生総合保障制度は、こども総合保険のペットネームです。〉

- 1. 団体割引25%適用・損害率による割引15%適用** (天災危険補償特約保険料には損害率による割引を適用しません。)
- 2. 病気・けが・賠償事故・携行品等を補償**
- 3. 国内外を問わず24時間の傷害・病気を補償**
○携行品(学校管理下動産担保特約)の補償は学校管理下中のみです。
○夜間・休日も24時間事故の受付をしております。
- 4. 「スクールメディカルデスク24」で24時間無料電話健康相談サービス付き**
○「スクールメディカル・デスク24」は、東京海上日動メディカルサービス㈱との連携により、同社からご提供いたします。
※詳細はパンフレットをご確認ください。
※補償期間(保険期間)は1年となります。(平成29年4月25日午後4時より平成30年4月25日午後4時まで1年間)
※中途加入は補償期間が異なります。詳しくは取扱代理店までお問合せください。

〈保険金額と掛金(保険料)〉

補償内容	W3タイプ	W2タイプ	W1タイプ	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	
賠償責任 (記録情報限度額 500万円)	1事故3億円限度	1事故2億円限度	1事故1億円限度	1事故1億円限度	1事故5,000万円限度	1事故3,000万円限度	
病気入院日額 (1日あたり)	5,000円 (4,600円)	5,000円 (4,500円)	4,000円 (3,500円)	—	—	—	
傷 害	入院日額 (1日あたり)	6,000円 (4,600円) 天災危険補償特約付帯	5,000円 (4,500円)	4,000円 (3,500円)	3,800円 (3,500円)	2,900円 (2,700円)	2,500円 (2,100円)
	通院日額 (1日あたり)	3,500円 天災危険補償特約付帯	3,400円 (3,200円)	2,400円 (2,300円)	2,400円 (2,200円)	1,300円 (1,200円)	1,000円
手術	入院日額の10倍(入院中の手術) 5倍(入院中以外の手術)です。						
死亡・後遺障害	247.0万円 (233.0万円) 天災危険補償特約付帯	239.0万円 (232.6万円)	221.2万円 (214.7万円)	218.3万円 (208.3万円)	202.0万円 (185.2万円)	137.6万円 (128.2万円)	
被害事故補償	1事故1,000万円限度						
育英費用	100万円 天災危険補償特約付帯	100万円			50万円	—	
携行品 (学校管理下動産担保特約) 〈免責金額(自己負担額)〉	1年間で10万円限度〈1事故1,000円〉						
年間保険料	16,650円	14,650円	11,650円	9,650円	6,650円	4,650円	
制度維持費	350円	350円	350円	350円	350円	350円	
制度掛金 (1年分)	17,000円	15,000円	12,000円	10,000円	7,000円	5,000円	

○携行品の損害保険金は1年間で10万円が限度(注)となります。

(注)携行品の損害保険金のお支払額の合計が保険金額(10万円)と同額となった場合は、この携行品の補償は損害発生時に終了します。

※こども総合保険については被保険者(保険の対象となる方)ご本人の人数により保険金額が一部変更となることがあります。(上記保険金額は被保険者(保険の対象となる方)ご本人の人数が、5,000名以上10,000名未満の場合です。3,000名以上5,000名未満の場合は()内の保険金額となります。) ※制度掛金は制度維持費350円を含んでおります。

※上記保険料は職種別Aの方を対象としたものです。お子様(被保険者-保険の対象となる方)が継続的にアルバイトに従事している等で、職種別Aに該当しない場合は、保険料が異なりますので、取扱代理店にお問い合わせください。

※病気入院(入院医療保険金)について：新規ご加入時の支払責任の開始時より前に被った病気については保険金お支払いの対象となりません。(ただし、新規ご加入時の支払責任の開始する日からその日を始めて1年を経過した後に生じた保険金支払事由については、保険金お支払いの対象となります。)

このご案内はこども総合保険の内容についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

〈お問合せ先〉取扱代理店 ㈱東海日動パートナーズ 中国四国 TEL:0120-018-217 平成29年9月作成 (16-T24971)

〈引受幹事保険会社〉



TOKIO MARINE
NICHIDO

東京海上日動

(担当支社) 広島支店 広島中央支社
広島市中区八丁堀3-33 広島ビジネスタワー
TEL 082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は上記お問合せ先にご請求下さい。

〈共同引受保険会社〉



AIU損害保険(株)
広島営業支店

広島市中区基町12-6
富士火災広島ビル
TEL 082-222-4351

この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

〈引受保険会社〉 東京海上日動火災保険(幹事保険会社) AIU損害保険株式会社